

静岡県小山町

- ① ベンチ
- ② カウンター
- ③ 演台

【概要・アピールポイント】

- ①②町民が利用する公共施設等にベンチを設置するとともに、東京2020競技大会のレガシーとなること及び木材利用の普及啓発のため、観光スポーツ交流課及び農林課の窓口のカウンターを作製。
- ③記者会見等外部への情報発信の際に活用することで木材利用の普及啓発へつなげる。

■ 資材提供のきっかけ

小山町は東京2020大会自転車競技ロードの開催地であり、日本一の富士山と町内の美しい自然が世界に放映されることは、小山町で育ったブランド材「富士山-金時材」を世界に発信する絶好の契機であり、町内の林業活性化、森林認証材の普及を目指し木材の提供を実施しました。

■ 提供した木材の概要

- ・スギ (5.0m³)
- ・小山町では、平成22年9月の台風災害を契機として、「山地強靱化総合対策協議会」を設立し、国、県、町、地域住民が一体となって災害に強い森林づくりに向けた取組を行っています。このような森林づくりを継続的に行うために、環境と経営を両立した森林経営を目指し、森林認証を取得した材を提供しています。

■ 用途

- ①ベンチ (8基)、②役場窓口カウンター (2基)、③演台

■ 用途決定までのプロセス

- ①② アイディア募集を行い、20件の応募があった。2件を選定し、採用。
- ③記者会見等外部への情報発信の際に活用することで木材利用の普及啓発へつなげる。



■ 完成/使用開始時期

2022年6月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

- ①②役場庁内及び関係公共施設等
- ③役場内

■ 完成まで・完成後のエピソード

- ・東京2020大会のレガシーとして、「富士山-金時材」のPRとして活用していくために、町民からアイディアを募集しました。様々な提案の中から、皆様の目に留まり、誰もが利用できる活用方法を選定するのに苦労しました。
- ・木製ベンチは、主に支所・文化会館といった公共施設に設置し、多くの人に利用されています。
- ・木製カウンターは、見た目のインパクトから東京2020大会のレガシー・地元材のPRに一役買っています。



問合せ先

経済産業スポーツ部 農林課技監 (林業班)
電話：0550-76-6112